



第 111 号(平成 30 年5月 25 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日～5月 13 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	60	10	2	31	29	72	7
平成 29 年	76	17	1	43	33	94	19
前年同期比	-16	-7	+1	-12	-4	-22	-12
内)BC	-15	-2	+1	-4	-20	-25	-12

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	7	11.7%	1		4	2	7
	後立山	16	26.7%	4	2	7	6	19
	その他	5	8.3%			2	4	6
	計	28	46.7%	5	2	13	12	32
中央アルプス	6	10.0%	1		1	4	6	
南アルプス	2	3.3%				2	2	
八ヶ岳連峰	11	18.3%	3		10	6	19	
その他の山岳	13	21.7%	1		7	5	13	
計	60		10	2	31	29	72	

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	20	33.3%	8		19		27
転倒	7	11.7%			7		7
病気	3	5.0%				3	3
道迷い	14	23.3%				16	16
落石		0.0%					0
雪崩	1	1.7%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	5	8.3%				8	8
不明・他	10	16.7%	1	2	5	2	10
計	60		10	2	31	29	72

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下					0	9人 18.0%				3	3	9人 40.9%	3	18人 25.0%
20代				2	2					3	3		5	
30代	1		5	1	7		1		1	1	3		10	
40代	5	0	5	5	15	27人 54.0%			5		5	9人 40.9%	20	36人 50.0%
50代	1	1	5	5	12				3	1	4		16	
60代	2		3	3	8	14人 28.0%				2	2	4人 18.2%	10	18人 25.0%
70以上		1	3	2	6				1	1	2		8	
計	9	2	21	18	50		1	0	10	11	22		72	
比率	69.4%						30.6%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
5月10日	南佐久郡川上村地籍 小川山	61	男	滑落	死亡	小川山付近で、何らかの原因により、滑落
5月10日	諏訪市四賀地籍 霧ヶ峰	82	男	道迷い	無事救出	山菜採り中、道に迷い、行動不能
10日、諏訪市四賀の山に山菜採りで入山した男性Aさん 82歳が行方不明となる事案があり、警察、消防等で捜索をして、11日、無事発見、救助しました。						
5月12日	北アルプス前穂高岳	47	男	道迷い	無事救出	前穂高岳に向けて登山中、道に迷い、行動不能
12日、北アルプス前穂高岳で、男性Aさん 47歳が道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
上記遭難現場の状況						
5月12日	北アルプス前穂高岳	29	女	疲労	無事救出	前穂高岳から下山中、疲労により行動不能(上記遭難者の同行者)
12日、北アルプス前穂高岳で、女性Aさん 29歳が疲労のため行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
5月12日	北アルプス杓子岳	57	男	滑落	負傷	杓子岳に向かって登山中、残雪に足を滑らせ、滑落、負傷
12日、北アルプス杓子岳で、男性Aさん 57歳が滑落して骨折の重傷を負う山岳遭難が発生し、山梨県防災へりが救助しました。						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

前穂高岳で発生した山岳遭難2件は、仲間3名で入山したものの、別々に行動した結果、1名が道迷い、1名は疲労のため行動不能となったものです。パーティで登山をする場合は、事前にお互いの登山技術、体力等を把握し、そのパーティに見合った登山計画を立てるとともに、トラブル発生時の対処等についても確認しておきましょう。また、別行動になると、途中でトラブルに遭った場合、連絡手段がなく、パーティ全体の行動に影響を及ぼします。離れずに声の届く範囲で行動しましょう。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝